



我が心の西条

第二回

歴史小説家 菅 靖 匡

▼人口のうごき

人口 114,355人 (+9人)
 男 54,833人 (+1人)
 女 59,522人 (+8人)
 世帯 48,435世帯(+28世帯)
 平成23年8月末日現在
 住民基本台帳登録数()内は前月比

▼テレホンサービス

- 市政だより 0897-53-1500 (常時)
- 当番病院 0897-58-2200 (常時)
- 災害情報 0897-55-5551 (発生時)

▼編集後記

映画「男はつらいよ」の1コマ。「名も知らぬ川のほとりで寝転んで、青い空をツウと泳ぐ赤トンボを眺めるうちに嗚呼そうだ、俺も柴又に帰ろう」と、寅さんが望郷の念にかられるシーンがあります。周りは満開の彼岸花。今年も秋祭りがやって来ます。正月には帰省しないけれど、祭りには帰って来るとい話はよく聞きます。鐘や太鼓の音に血が騒ぐのは、西条出身者のDNAに特別な何かか刻まれているからだと真剣な顔で話す友人もいます。あなたの大切なあの人、帰って来ますよね、寅さんのように… (ま)

四国というのは、「淡路島に続いて二番目に生まれた島」と、我が国に現存最古の歴史書である『古事記』に記されています。誕生のときは、すでに愛比売(現在の愛媛)という名付けもありました。その大地にて、ことに霊峰石鎚山に守護されながら栄えてきたのが、私たちの住む西条地方です。

今ではその本丸跡に、保国寺の住持であられた上甲和尚の茶室が建っています。国道11号の加茂川橋辺りから、歩いて一時間余りでたどり着ける近場ですが、ここは古代から石鎚山を遙拝する絶好の場所とも云われていて、いざ頂上に登れば新居浜市の西端から東予地区一帯を見渡せます。また好天の折には、眼下

この西条が四国において最大の激戦地となったのは、豊臣秀吉による天下統一の少し前、天正13(1585)年も盛夏の頃でした。日本史にいう秀吉(当時はまだ羽柴姓)の四国征伐を迎え撃つため、東予地方の豪族が一丸となって激闘したのです。そんな東予勢が死守すべき本城は、西条地区の神戸・高峠に在りました。

▼毎年8月17日に行われている「市民納涼花火大会」は、秀吉の四国進軍により戦死した人々の霊を慰めるために、盆の送り火として始まったと伝えられています。



▲高峠城があった山頂(写真手前)からは、道前平野や瀬戸内海を一望できます。

に広がるひうち灘から来島海峡辺りまで遠望できる、まさに本城を築くにふさわしい、地の利に恵まれていたことを察するに余りある場所です。ということで、今回はこれまで。いま暫くは西条古戦場めぐりにお付き合ってください。

西条バードウォッチング

Saijo Bird Watching

No.74 ノゴマ (旅鳥)

全長15.5cm、全身褐色を帯びたオリーブ色で、雄では喉の下の赤色が目立ち、「日の丸」というニックネームで呼ばれています。北海道で夏鳥として繁殖しますが、西条では旅鳥として春と秋の渡りの季節に川沿いの繁みや民家の庭などで見られています。個体数は少なく、見つけた時の嬉しさは格別です。



撮影：十亀茂樹

広告欄

広告欄

補聴器と聞こえの相談会

聞こえの相談 聴力測定 最新補聴器の試聴 を行っております。

相談会日程
 <西条地区> 10月19日(水) 10:00~15:00 西条市役所本庁1階
 <丹原地区> 10月20日(木) 9:00~12:00 丹原文化会館2階



西条店では毎日無料相談を受け付けております。お気軽にご来店ください。

えひめ補聴器センター 0120-33-4449
 住所/西条市本町1-1 定休日/日・祝・第2・第4土曜 西条市役所南側 渡部タクシー本社向かい側

癒しと整体 アーリア

リラクゼーションから症状改善まで、かけがえのない命を尊重して、安心感の中で施術させていただきます。

完全予約制 0898-68-0181

西条市丹原町池田1337-1 (丹原ヤマサンを北へ300m)
<http://www.hi-ho.ne.jp/h-andy/>



整体指導 エステセラピー